

第45回試験研究成果発表会プログラム

酪農・肉牛部門

日 時 平成20年1月25日(金) 10時30分～15時

場 所 さんぶの森文化ホール(さんぶの森公園内)

山武市埴谷1904-5 (TEL 0475-80-9100)

成果発表

10:40 乳用種未経産牛を用いた受卵牛の効率的な発情同期化方法

畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 牛島仁

受精卵移植技術の利用によって、人工授精と同程度の妊娠率が得られるようになってきた。技術の効率化の決め手となった乳用種未経産牛の同期化法について紹介する。

11:10 生米ぬかの給与が黒毛和種去勢牛の脂肪質・食味性に及ぼす影響

畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 有路優子

不飽和脂肪酸含量の多い生米ぬか、または脱脂米ぬかを給与し、牛肉の脂肪質について検討したところ、生米ぬかを給与した牛肉はオレイン酸などの不飽和脂肪酸割合が高くなった。

11:40 飼料イネサイレージは交雑種去勢牛の粗飼料として有効

畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 石崎重信

交雑種去勢牛に飼料イネサイレージ(稲発酵粗飼料)を稲わらの代わりに給与すると、牛の嗜好性が良く、肉質も良好で、牛肉中のビタミンE含量が高くなる。

情報提供

13:00 稲発酵粗飼料給与牛肉の官能評価

畜産総合研究センター 企画調整部 経営調査室 鈴木一好

上記試験での産肉を用い、4回、延べ1,180名による官能評価を実施したところ、稲発酵粗飼料を給与した牛肉の食味は慣行法で飼育された牛肉と同等かそれ以上の評価を得た。

13:30 イネホールクロップサイレージと食品製造粕を原料とした搾乳牛用発酵TMRの給与実証試験

畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 丸山朝子

県内酪農家において、イネWCSと食品製造粕等を混合・発酵させたTMR飼料を給与し、農家の慣行飼料給与群と比較して搾乳牛用飼料として十分に利用できることを確認した。

14:00 遊休地を利用した小規模移動放牧技術

畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 永福和明

遊休地、耕作放棄地を有効利用できる繋留放牧（杭に繋いだロープを利用した放牧）を中心に簡易電気牧柵を利用するなどの小規模移動放牧技術について紹介する。

養豚部門

日 時 平成20年2月13日（水） 10時～13時30分

場 所 印旛合同庁舎2階大会議室（印旛農林振興センター隣）

佐倉市鏑木仲田町8-1（TEL 043-483-1125）

成果発表

10:10 二元交雑豚WDの産肉性に及ぼす止め雄系統の影響

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 鈴木邦夫

系統豚「ボウソウW」に、止め雄としてユメサクラ、しもふりレッド、サイボクの3系統を交配した二元交雑豚WDの産肉性について比較したところ、ユメサクラを交配したものが良好であった。

10:30 中ヨークシャーに県産規格外カンショを給与した特徴ある銘柄豚づくり

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 高橋圭二

アミノ酸のリジン濃度を調整した飼料を給与すると霜降り豚肉が生産できる技術を活用し、県特産のカンショを飼料化することにより、中ヨークシャーを用いた特徴のある豚肉生産技術を確立した。

10:50 肥育豚におけるコンビニエンスストア残さの利用

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 松本友紀子

肥育豚に、乾燥処理したコンビニエンスストア残さを、肥育開始から出荷までの全期間、肥育用飼料に配合して給与したところ、発育成績や肉質成績は良好であった。

情報提供

11:10 DNAマーカーによるトレーサビリティシステムの検証

畜産総合研究センター 生産技術部 生物工学研究室 山口倫子

開発した親子判定技術を使って、トレーサビリティシステムを取り入れている生産農家の種豚と販売肉の親子判定および各流通段階での個体識別を行い、システムの検証を行った。

11:30 トレーサビリティシステム導入に伴う農家経営に及ぼす効果

畜産総合研究センター 企画調整部 経営調査室 園原邦治

トレーサビリティシステム導入に伴う労働作業を軽減するため、同一出荷ロットの同腹豚の日齢間差を50日から30日に縮めることで作業時間の短縮効果が示唆された。

12:45 レーダーチャート成績表を活用した一養豚組合における環境・衛生指導の効果

北部家畜保健衛生所 衛生指導課 青木ふき乃

環境・衛生検査（AD,PRRS,PCV2,MPS,Bb 抗体及び豚舎形態，落下細菌数，NH₄濃度，密飼度，清掃状況）の結果を指数化し一目でわかる成績表を作成，組合検討会で成績を公開し地域で改善に取り組んだ。

養鶏部門

日 時 平成20年2月14日（木） 10時～14時

場 所 成田国際文化会館 成田市土屋303（TEL 0476-23-1331）

成果発表

10:10 強制換羽用飼料利用による強制換羽の検討

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村野多可子

栄養価がほとんど無い飼料を給与し換羽に導く方法が広まってきている。絶食によりSE感染が重度になるが、飼料給与群は軽度であった。産卵成績は銘柄によって異なった。

10:35 高脂肪高タンパクエコフィードの採卵鶏への応用

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村野多可子

コンビニエンスストアから排出される消費期限切れなどの食品の内、高脂肪の素材をフレーク状にし、採卵鶏に7.5%、15%の割合で配合した飼料を1年間に渡り給与した結果、給与群が良好な成績を示した。

情報提供

11:00 高脂肪高タンパクエコフィードのブロイラーへの応用

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 青木大輔

コンビニエンスストアから排出される消費期限切れなどの食品の内、高脂肪の素材をブロイラーに7.5%、15%の割合で配合した飼料を給与したところ、添加群は体重などで良好な値を示した。

11:25 加熱加工飼料配合による採卵鶏の排せつふん量低減化の検討

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 徳丸洋一

加熱加工飼料を25、50、100%配合した一般採卵鶏用配合飼料をジュリアに給与し、排せつふん量および成分、生産性などに及ぼす影響について調査した。

12:45 ワクモの防除に対するいくつかの試み

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村野多可子

市販殺虫剤の大半にワクモの抵抗性が生じてきている。そこで、殺虫剤以外にワクモ防除に寄与するものをいくつか検討した。

13:05 採卵鶏の銘柄別性能比較試験

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 青木大輔

採卵鶏のボリスブラウン、シェーバーブラウン、ゴトウさくら、ハイラインソニア、ジュリア、バブコック、ハイラインマリア、デカルブ TX の 8 銘柄について育成成績、産卵諸性能、卵質、糞中水分率などを調査した。